

福祉・生活・健康サポート事業

就労相談・就職支援事業

2006年1月無料職業紹介事業の許可を受けました。あいりん職安南分室跡の建物を借りて「お仕事支援部」を開設し、大阪ホームレス就業支援センターからの委託を受けて、求人開拓・求人紹介や就職相談・履歴書の書き方のアドバイス、面接時の携帯電話や自転車の貸出などの就職活動支援をおこなっています。また、2階では就職支援セミナー等の会場にも使用しています。



福祉相談・生活サポート事

野宿生活者からの相談を受けて、居宅保護や施設入所、入院の手続きを支援するなど、野宿生活からの転換を図れるよう相談事業を行っています。また、居宅保護などの福祉処遇を受け始めた後の、医療や生活面の支援を継続して行っています。福祉相談・生活サポート事業では、ボランティアも活動を支援しています。



生活改善・健康相談事業

2008年度より、夜間宿所と禁酒の館で生活相談を開始し、医療・福祉につながる窓口を拡げました。また、特別清掃事務所血圧計を設置するとともに、医療関係者のボランティア協力をえて健康相談を行っています。



「大阪希望館」事

2009年6月、「大阪のまちを大きなセーフティネットに」を合言葉に、野宿生活に追いやられる前に受け止めて再出発を支援するための、「大阪希望館(住まいをなくした人の再出発支援センター)」を、大阪北区で開設しました。民間の資金と資源・ネットワークによる労働団体・宗教団体など幅広い人たちとの共同の支援事業です。

「住居喪失不安定就労者」支援事業

「ネットカフェ難民」やホームレスぎりぎりの人など、広義のホームレス層への福祉・就労・住居支援を進めるため、2008年度より市内対策部を設置しました。大阪ホームレス就業支援センターから委託を受けています。OSAKAチャレンジネット(エルおおさかに設置)と連携して、市内の夜間巡回相談・相談者への継続支援を行っています。

市内対策事業

夜間宿泊所運営事業

「あいりん臨時夜間緊急避難所」の「今宮」および「萩之茶屋」の2箇所の避難所の管理・運営を行い、野宿を余儀なくされる労働者に毎日1,040人分の寝場所を提供しています。大阪市からの委託事業です。

- ▼ 利用は1日単位で、夕方5時半に利用券を配布し、夕方6時～翌朝5時の利用となっています。
 - (今宮シェルター・三角公園南側) 2000年4月に設置され、定員は600人。シャワーが20機です。
 - (萩之茶屋シェルター・特掃事務所裏) 2004年2月に設置され、定員440人、シャワーは16機。



寝場所提供事業

憩いの場提供事業

(禁酒の館) 昼間の休憩や交流の場所として、また生活支援のために、2006年5月より、西成消防署海道出張所跡地を借りて、低額の食堂喫茶室、無料でのシャワー、図書室、囲碁将棋室、洗濯機の利用を提供しています。



公園管理共同事業

2006年度より、民間企業とJVを組み、大阪府営住吉公園と住之江公園の指定管理者として公園管理を担い、市民のための公園と雇用機会・訓練事業の場を両立させる試みを進めています。

その他の事業